

世帯と人口

(4月1日現在)

世帯	43,430	(+185)
人口	118,454人	(+104)
男	60,519人	(+ 25)
女	57,935人	(+ 79)

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

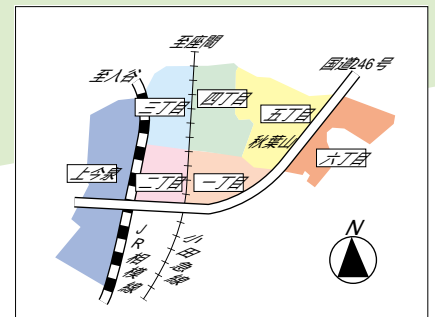


▲柏ヶ谷方面から望んだ秋葉山

▶山中はまるで緑のトンネル



▲秋葉山の古墳から出土した土器



えびな模様…上今泉から

## 緑と古墳の最高地点

秋葉山は、たくさん建物が連なるその向こう側に、雑木林で覆われて盛り上がったように見えます。上今泉地区のちょうど中央付近、四丁目と五丁目の境に位置し、84・6mという標高を持つ市内最高地点でもあります。

秋葉山の周囲は閑静な住宅街ですが、山中に一歩足を踏み入れれば、木の葉がさざめき野鳥のさえずる別世界が広がります。上りきった所にある低い丘をさらに石段で上ると、「憲政碑」と刻まれた大きな石碑が目の前に現れます。木立のために分かりにくいのですが、碑の建つこの場所が市内で最も高い地点です。

「今泉 古墳群」ある 秋葉山」と郷土かるたにあるように、この山はもともと古墳の集まりで、現在6つの古墳があることが確認されています。憲政碑の西側にある古墳は、3世紀後半ごろ造られた県内最古のもの。ここからは祭祀用と思われる注ぎ口が付いた特殊な形の土器が出土していて、東日本で古墳が造られ始めた時代を研究するうえでとても重要な遺跡です。

出土品などから、秋葉山には当時の有力者が埋葬されたと考えられています。その人物の詳しい素性やこれらの古墳がなぜ秋葉山に集中して造られたのかはまだ不明ですが、今後の研究が待たれる部分も多いようです。

秋葉山によく散歩に来るといふ市民の方は、「古墳のおかげで住宅のすぐ近くに緑がたくさん残り、桜や紅葉も美しくとても気に入っています。夏の夜に花火見物へ来る方も多くいます」と話しています。

1600年以上の時を経た古墳と隣り合わせに、21世紀の私たちが暮らす家並みが広がっている様子は、多くの史跡に恵まれた海老名のまちを象徴している、といえるでしょう。

### 上今泉 アラカルト

◎人口(平成13年4月1日現在) 12,727人[男6,453人・女6,274人]

◎世帯 4,429世帯

◎面積 1.93平方キロメートル [市全面積 26.48平方キロメートル]

◎沿革 「今泉」は常泉院境内の泉に由来し、元禄ごろ上・下に分かれたと伝えられる。昭和51年に上今泉一～五丁目、同58年に六丁目が誕生。